

まだまだ知らない串間がたくさん！

くしま再発見

気軽に来て！見て！串間市総合案内所

今回は、気軽に電車を楽しめて観光情報も手に入る串間市総合案内所のご紹介です。

串間駅横にある路面電車。「島の味 お好みソース」の看板からも分かるように、平成26年11月まで広島を走っていたこの電車は、平成27年5月に「くしままちづくり協議会」が譲り受け、串間にやってきました。車内はレトロな気分になれる木造作りと赤いシート。床だけでな



路面電車全体



路面電車の車内

く窓枠も木で作られており、転席のスイッチやボタンに触れ、遊ぶこともできます。路面電車の半分はフリースペースになっていて、宿題をしている小学生、バスや電車待ちの方、ちよつとした休憩など、訪れる理由は人それぞれ。

先日は、日本各地を自転車で旅行中という外国の方がいらっしやいました。シートとテーブルだけのシンプルな場所ですが、それぞれの時間が流れるゆつたりした空間となっています。

そして、残り半分のスペースが観光案内所です。車窓には串間の魅力を伝えるポスター。机の上に並ぶのは観光地やイベントのパンフレット。さらに、迎えてくれるのは素敵なコンシエ



レトロな雰囲気が漂う運転席

ルジュ（案内人）。「ご案内した方が、わざわざお礼を言いに戻って来てくれる時が一番嬉しいです。また、お勧めした場所を実際に訪れてくれた時の喜びもありますね。観光案内だけでなくいろいろな情報を提供できるようアンテナを張って日々過ごしています。もっと気軽に訪ねていただければ」とたくさんのエピソードと共に案内所への思いを語ってくださいました。明るいコンシエルジュとついつい話に花が咲いてしまうのも串間ならではの魅力かもしれませんね。

令和最初の夏も、串間市はイベントが目白押しです。お出かけの際には、ぜひ串間市総合案内所にもお立ち寄りください！

今後のイベント予定

- ◆ 高松海水浴場海開き（7月13日）
- ◆ あたご祭り（7月23日）
- ◆ 渚のフェスティバル（7月27日）
- ◆ 福島港花火大会（8月12日予定）
- ◆ 都井岬火まつり（8月23・24日）

市民コンシェルジュ（ボランティア）を募集しています！

串間市総合案内所では、週末の観光案内にご協力いただける団体や個人を募集しています！市民コンシェルジュのお仕事は、観光客に串間の良さを伝えること。あなたも市民コンシェルジュになって、串間の魅力を伝えてみませんか？

※興味を持たれた方は、串間市商工観光スポーツランド推進課までご連絡ください。（簡単な面談をさせていただきますので、ご了承ください）

〈問い合わせ先〉
商工観光スポーツランド推進課 ☎72-1111（内線269）

「短歌」串間短歌会選

過ぎし日を交互に語るケアの集い笑顔の皴に苦勞がのぞく

上中園 鍋倉 文子

「チョット来い」茂みの中から命令す昔や駆け足今はもたもた

有明一區 長岡 アイ子

鋏打ちて草根抜く手の軽くなる保育園児のあいさつの声

西浜 河野 ヨシ子

夕暮れの都井岬の沖は光白く海面鎮もり靄おほいくる

堂園 吉田 良子

車窓より見る一人居の友の家今日も元氣と空いた車庫云々

小路 安山 らく

短歌の投稿は 清水しづ子さんまで（☎72-15546）

「俳句」あさひ俳句会選

信ずるも徒もあるなり初茄子

上町一 又木 順子

老鶯の一際澄める今朝の空

仲町 藤原 淑子

薫風やガイドの屋島合戦記

上町一 神戸 和子

羽拔鶏思い出したるものは何

仲町 矢野 欽子

わずかなる時を惜しむや草筆り

一般投句 鍛冶屋 森本 慶典

俳句の投稿は 又木 順子さんまで（☎72-10159）

うたごよみ

12の季節

市長コラム

6月議会を終えて

今年、日本は新元号「令和」となり新しい時代を迎えましたが、串間市も誕生して65年の節目を迎えます。令和の時代はより安全で安心して暮らせる幸せな時代を築いていかなければなりません。

今年度の串間市の予算は、市制施行以来の大型予算となっています。先日の6月議会では、議員の皆さんと本市の改革、改善を行いながら安定するまちづくりを目指すための議論をさせていただきました。

しかし、どれだけ考え、議論しても実際に行動しなければ何も成果は出ませんし、時間だけが過ぎていきます。行政と議会はもちろん、全市民が団結し、勇気と覚悟をもって取り組み、今は大変でも3年後5年後には必ず結果が生まれてくると思います。本市の雄大な自然が育む豊かな森や大地、そこを流れる清らかな水があられ出す海原。私は、これらの恵まれた環境資源を最大限に生かすことが、地域の活性化、ひいては「地方創生」につながるものと考えています。

本市の未来を担う子どもたちが、大きな夢を持てるような、串間出身であると胸を張って言えるような串間にしたい。登下校中にすれ違う際、いつも元氣よく挨拶してくれる小学生たちを見ていると、そう思わずにはいられません。



串間の未来を担う子どもたち